



平成27年12月17日

各 位

会 社 名 燦ホールディングス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 古内 耕 太 郎
 (コード番号 9628 東証第一部)
 問合せ先 常務執行役員経理部長 大井 信 三
 (TEL. 06-6226-1716)

資産除却の意思決定および子会社の固定資産の減損処理等に伴う
 業績予想の修正に関するお知らせ

本日開催の取締役会にて決定した「公益社 枚方会館」の建替え計画に伴う資産除却の意思決定および子会社業績に起因する減損処理の影響等を踏まえ、平成27年10月28日に公表した平成28年3月期通期の連結業績予想および平成27年5月13日に公表した平成28年3月期通期の個別業績予想をそれぞれ下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成28年3月期 通期連結業績予想数値の修正 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 18,990	百万円 1,630	百万円 1,630	百万円 430	円 銭 76 56
今回修正予想 (B)	18,600	1,500	1,500	200	35 61
増減額 (B-A)	△390	△130	△130	△230	—
増減率 (%)	△2.1%	△8.0%	△8.0%	△53.5%	—
(ご参考) 前期実績 (平成27年3月期)	18,437	2,018	2,021	985	175 42

2. 平成28年3月期 通期個別業績予想数値の修正 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

	営業収益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 4,600	百万円 1,280	百万円 1,060	円 銭 188 73
今回修正予想 (B)	4,640	1,130	760	135 31
増減額 (B-A)	40	△150	△300	—
増減率 (%)	0.9%	△11.7%	△28.3%	—
(ご参考) 前期実績 (平成27年3月期)	4,276	1,276	452	80 63

3. 修正の理由・背景

(1) 資産除却の意思決定に伴う営業費用および特別損失の計上

本日開催の取締役会にて「公益社 枚方会館」の建て替え計画を決議したことにより、既存会館設備の除却の意思決定に伴う営業費用および特別損失の発生が以下のとおり見込まれます。

(単位：百万円)

意思決定事項	営業費用	特別損失	合計	うち平成28年3月期計上額		
				営業費用	特別損失	合計
枚方会館の建替え (新築リニューアル)	287.3	113.0	400.3	114.6	113.0	227.6

(注1) まず、「枚方会館 本館」を取り壊して、跡地に新会館を建築、その後「枚方会館 別館」を取り壊す計画であるため、当該会館の営業休止期間は見込んでおりません。

(注2) 当該会館は燦ホールディングス㈱の所有物件であるため、営業費用のほとんどすべて、特別損失のすべては、燦ホールディングス㈱において発生します。

(ご参考)

現「枚方会館 本館」解体工事着工 平成28年5月(予定)

現「枚方会館 別館」解体工事等完了 平成29年9月(予定)

(2) 子会社の固定資産に係る減損処理

当社の連結子会社である㈱葬仙の業績が、平成28年3月期も前期に引き続き低迷しているため、同社の固定資産(余子ホール土地および他ホールの内部造作等)について減損損失(特別損失)75百万円の計上が必要となりました。

(3) 関係会社株式評価損の計上

上記(2)による㈱葬仙の純資産の減少に伴い、燦ホールディングス㈱が所有する同社株式に対して特別損失122百万円(関係会社株式評価損)を計上します。

(注) この特別損失は、燦ホールディングス㈱の個別業績にのみ影響します。

(4) その他

連結営業収益の予想に関しては、下期の連結取引消去額を過小に見積もっていることが判明したため、通期予想額を前回予想比390百万円の減額に修正しました。

(注) 上記の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上